

科目	単位	時間	履修学年	講師名
母性看護援助論Ⅲ	1	30	2	
ねらい	正常に経過する産褥期および新生児期にある対象の看護に必要な看護技術を学ぶ。			
回数	授業内容	授業方法		
1回目	母性看護における看護過程の特徴 ウエルネス看護診断・演習事例紹介・データベース	講義	個人ワーク	
2回目	妊娠期の分析・解釈	個人ワーク	個人ワーク	
3回目	分娩期の分析・解釈	個人ワーク	個人ワーク	
4回目	褥婦：産褥期の分析・解釈 褥婦：産褥期のアセスメント・看護診断	個人ワーク	個人ワーク	
5回目	褥婦：看護計画の立案 関連図・看護計画	個人ワーク	個人ワーク	
6回目	新生児の情報整理	個人ワーク	個人ワーク	
7回目	新生児の分析・看護診断・看護計画	個人ワーク	個人ワーク	
8回目	褥婦・新生児の看護技術準備	グループワーク	グループワーク	
9・10回目	褥婦・新生児の看護技術 演習 ①妊婦体験妊娠中の動作②産褥の子宮底長の測定 ③悪露の観察 ④授乳の援助抱き方 ⑤ボトル授乳と排気⑥新生児のV S測定 ⑦おむつ交換 ⑧黄疸の計測⑨光線療法の看護 ⑩K ₂ シロップの服用⑪新生児の計測	グループワーク	グループワーク	
11回目	産褥期の保健指導準備	グループワーク	グループワーク	
12回目	産褥期の保健指導発表 ・産後1ヵ月の過ごし方・産褥の異常・栄養（貧血） ・育児不安のある褥婦・育児サポートが少ない褥婦 ・母子手帳の活用・産褥体操・赤ちゃんの生活 【母乳栄養】・乳頭の正しい含ませ方・母乳不足の見分け方	発表	発表	
13回目	新生児の看護（沐浴・ドライテクニック）	講義	講義	
14回目	新生児の看護の実施（沐浴・ドライテクニック）	演習	演習	
14.5回目	まとめ			
15回目	試験			
教科書	系統看護学 母性看護学各論 医学書院病気が見える⑩産科			
評価方法	看護過程の課題提出（グループワークの参加度を含む）：100点			
備考				